

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	農業委員会運営事務	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間 年度～
	施策	農業の支援	種別 法定事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働
予算科目コード	01-060101-01 補助	根拠法令・条例等	農業委員会等に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>農業委員会は、農業委員会等に関する法律に市町村への設置が規定されている行政委員会であり、守谷市においては昭和31年に設置された。</p>	<p>農地法に基づく申請に対して、定例（毎月）開催する農業委員会総会において審議を行う。</p> <p>農地利用最適化推進委員を中心に、農地の利用状況調査を行い、今後の利用について意向確認するとともに、農地の貸借等の調整を図ることで、農地の集約を促進する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>農地法に基づき、農地の権利移動や転用等の申請について審議し、農地を農地以外とすることを規制や農地の利用関係を調整することにより、農地の確保と利用促進を図る。また、農地所有者への指導等を行い、遊休化農地の防止、減少を図るとともに、農地利用の最適化を図る。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>農地の集積により生産性が向上する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>農業委員会は、農地を保全し農地の利用促進を図ることが主な業務である。また、農地を農地以外とすることを規制し農地の利用調整等を行っているが、農業者の高齢化や担い手不足により、遊休化農地が発生していることが問題となっている。遊休化農地の防止・減少を図るとともに、農地利用の最適化を推進する必要がある。</p>	<p>農地法に基づく各種申請に対しては、会長、当番委員（農業委員3名及び農地利用最適化推進委員1名）が、毎月小委員会（23日）で現地を確認し、総会（28日）で農業委員全員による審議を行う。</p> <p>農地利用の最適化推進については、農地利用最適化推進委員を中心に年に1回（8月頃）、市内全農地の利用状況を調査し、11月に遊休化農地（新規発生）の所有者に対して農地の利用意向の確認（利用意向調査）を行い、農地中間管理機構への貸付を希望しない所有者に対しては指導を行う。また、利用権設定をしていない農家台帳上の自作地についても、計画的に戸別訪問等により実態を調査し、担い手への集積を図る。</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>農地法に基づき、農地の権利移動や転用等の申請について、総会で審議し、適正な事務処理を行う。また、農地利用の最適化を図るため、農地利用最適化推進委員を中心に、農地利用状況調査を実施し、遊休化農地所有者に対して利用意向の確認・指導等を行う。また、農家台帳上の自作地についても実態を調査する。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>次年度も引き続き、農地利用最適化交付金を申請し、実績に応じて各委員の報酬に実績分を上乗せ支給することにした。また、戸別訪問による実態調査も引き続き実施することから現状維持とする。</p>

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度を取組（評価、課題への対応）
<p>農地法に基づき、適正に許認可等の審査をして、農地を守っていく。</p> <p>農地利用最適化推進委員会を中心に、遊休農地化の防止・減少を図るため、利用意向の確認・指導を行う。</p>	<p>農地法に基づく適正な事務処理を行うとともに、農地法の違反行為について、関係課と連携を図りながら対応した。また、農業委員及び農地利用最適化推進委員会により、農家を訪問し今後の農地集積を図った。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
農地法等に基づく審査件数（件）	249.00	142.00	207.00	200.00	200.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	農地法等に基づく審査は法定事務であり、申請に基づき実施している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	今後も農地法等に基づく許認可等の審査を適正に行い、農地保全に努める。				

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	12,242	13,304	13,337	14,581	14,581
	国・県支出金	0	337	882	756	756
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	337	0	0	0	0
	一般財源	11,905	12,967	12,455	13,825	13,825
正職員人工数（時間数）		2,982.00	3,189.00	2,931.00	0.00	0.00
正職員人件費		12,226	13,314	12,026	0	0
トータルコスト		24,468	26,618	25,363	14,581	14,581

## 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	排水機場維持管理負担金	担当課	経済課	
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成 6年度～
	施策	農業の支援	種別	任意の事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働	
予算科目コード	01-060105-03 補助	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
各土地改良区の排水路等に流入する既成市街地からの雨水等による湛水被害を防除するため。	管理者である各土地改良区に対し、排水機場運転に係る経費の一部を負担する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内の土地改良区が排水機場の維持管理及び修繕を行い、機器を良好に保つための経費の一部を負担し、農地及び周辺市街地への湛水被害の防止を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
各排水機場は、施設設置後数十年が経過し、施設長寿命化事業等により更新や補修等を実施している。しかし、近年の異常気象による台風等の豪雨時に適切に稼働する必要があり、施設の日常点検や定期点検等を確実に実施するとともに、適切な運転が重要である。	<b>【通年】</b> ・各機場内の機器点検 ・点検結果の把握 ・点検結果による修繕等の計画 ・各土地改良区との協議 ※各改良区に維持管理負担金を支出していることから、上記作業は改良区で実施する。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
定期点検等により各排水機場内の機器等が正常に稼働することを確認し、必要に応じ修繕を行うなど、適正な常態で保てるよう施設管理をするとともに、台風等の排水機場の運転について土地改良区と協議する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	負担割合に基づく負担金であり、現状維持とする。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
排水機場の機能を安定させ、農地や農業施設の湛水被害を解消するばかりでなく、受益地内の公共施設等の湛水被害も軽減することができるため、現状の維持が必要とされる。	施設の維持管理を行う土地改良区に対し、負担割合に基づき負担した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
不具合発生件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	各土地改良区における排水機場の適正な維持管理により、不具合の発生はなかった。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	各排水機場の適正な排水処理を維持し、湛水被害を軽減するため、継続してその費用の一部を負担する。				

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	4,695	4,651	5,996	6,637	6,637
	国・県支出金	85	85	85	85	85
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,610	4,566	5,911	6,552	6,552
正職員人工数（時間数）		66.00	254.00	112.00	0.00	0.00
正職員人件費		271	1,060	460	0	0
トータルコスト		4,966	5,711	6,456	6,637	6,637

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	県営経営体育成基盤整備事業負担金	担当課	経済課	
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成22年度～令和 2年度
	施策	農業の支援	種別	任意の事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働	
予算科目コード	01-060105-06 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷土地改良区の圃場の施設が老朽化し、改修、整備が必要となった平成22年度から工事を実施している。	茨城県が経営体育成基盤整備事業として実施しており、事業費の一部を市が負担している。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
排水機場及び用排水路の改修による維持管理費の節減や、農道整備による営農の効率化を目的に実施される県営経営体育成基盤整備事業に対し、事業費の一部を負担し、農業生産の向上や担い手への農地集積を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
茨城県が計画に基づき守谷地区基盤整備事業を実施しているが、工事に係る用地買収において、地元調整に不測の日数を要したため、工期が1年延長することとなった。	【守谷土地改良区】 ・排水路工事 ・農道工事（用地測量、用地買収）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
早期完了を目指し、引き続き用地測量、用地買収に取り組む。	

次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	茨城県の事業計画に基づき毎年度事業費の一部を負担しているもので、次年度の事業費が増額するため増加とする。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度を取組（評価、課題への対応）
計画された事業を負担協定に基づき負担しているものであり、成果を得るため工事完了まで現状を維持する必要がある。	事業を実施する県に対し、負担割合に基づき経費の一部を負担した。本年度は、待避場設置工事に向けて用地買収を実施していたが、地元調整に不足の日数が生じたため、工事については翌年度へ延期し、来年度事業完了に向けて取り組むことになる。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
整備率（％）	61.70	85.00	89.00	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	100.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	工事進捗により、整備率が向上している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	令和2年度改修工事完了まで、継続して負担割合に基づき経費の一部を負担する。また、令和2年度からは、予算を土地改良事業各種負担金に統合した。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	3,459	6,495	4,910	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,459	6,495	4,910	0	0
正職員人工数（時間数）		36.00	21.00	57.00	0.00	0.00
正職員人件費		148	88	234	0	0
トータルコスト		3,607	6,583	5,144	0	0

## 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	日本型直接支払制度事業	担当課	経済課	
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成19年度～
	施策	農業の支援	種別	法定事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働	
予算科目コード	01-060105-07 補助	根拠法令・条例等	多面的機能支払交付金実施要綱 環境保全型農業直接支払交付金実施要綱	

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成19年度から、国により農地・水保全管理支払交付金制度が始まり、市内の活動組織が充足した。平成26年度から制度の拡充等により、日本型直接支払制度となった。	農業・農村を支える活動組織が行う各種作業等に対して国・県・市が交付金を給付することにより、活動を支援する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域内の農業者が共同で取り組む地域活動や営農活動を支援することにより、農地、水路、農道などの地域資源の適切な保全管理を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、市内の農用地全域で4つの組織が継続して活動を実施しているが、今後、高齢化の進行に伴う活動の継続が困難な状況等が生じる可能性がある。	【活動期間】 とりもつ会（守谷地区）H31.4～R6.3 ※H31.4再認定 高野環境保全活動組織（高野地区）H30.4～R5.3 大野地区田園環境保全活動組織（大野地区）H29.4～R4.3 菅生遊水みどりの会（菅生沼地区）H31.4～R6.3 ※H31.4再認定
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
農業者以外の多様な主体の参画等を進め、将来にわたり地域資源が持続的に保全管理されることが可能となるような体制づくりが必要である。	

## 次年度のコストの方向性（→その理由）

<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	国の制度に基づき地域の活動組織を支援するもので、現状維持とする。
--	----------------------------------

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
地域資源の適切な保全管理を図るために、組織が継続して活動できるよう補助する。また、活動休止をしていた高野地区が平成30年度から再活動することによって、環境保全対象面積が維持された。	多面的機能支払交付金については、活動を実施した4団体に、環境保全型農業直接支払交付金については、1団体に交付した。 多面的機能支払交付金を活用している4団体のうち2団体については、長寿命化事業の活動を行うことができ、地域資源の適切な保全管理が行われた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
環境保全対象面積（ha）	431.38	435.58	435.58	436.15	436.15
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	菅生沼地区、大野地区の多面的機能支払交付金で活動している2団体においては、長寿命化事業の活動が実施され、更なる地域資源の適切な保全管理が図れた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	地域資源の適切な保全管理を図るため、継続して補助を行う。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	23,966	24,270	28,631	30,540	30,540
	国・県支出金	17,702	18,202	21,472	22,904	22,904
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,264	6,068	7,159	7,636	7,636
正職員人工数（時間数）		395.00	472.00	464.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,620	1,971	1,904	0	0
トータルコスト		25,586	26,241	30,535	30,540	30,540

## 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	農業水利施設長寿命化事業	担当課	経済課	
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成23年度～令和元年度
	施策	農業の支援	種別	法定事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-060105-10 補助	根拠法令・条例等	土地改良法 地方財政法	

## なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市の施設である大野第2排水機場が老朽化し、機能を維持するための改修が必要となり、平成25年度から工事を実施している。	茨城県が基幹水利施設ストックマネジメント事業により、大野第2排水機場の機能を診断するとともに改修工事を実施し、市が事業費の一部を負担している。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
大野第2排水機場を改修するとともに、機能を維持するために県が実施する農業水利施設長寿命化事業の費用を一部負担し、湛水被害の防止を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

## 事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
茨城県が計画に基づき大野第2排水機場の改修工事を実施しており、課題はない。	【工事内容】 管理橋更新、建屋附帯工事
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	茨城県の事業計画に基づき毎年度事業費の一部を負担しているもので、今年度で事業は終了する。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
湛水被害を防ぐための大野第2排水機場の更新経費の一部を負担する事業であり、計画的に機能維持を図るものであるため、現状を維持する必要がある。	事業を実施する県に対し、負担割合に基づき経費の一部を負担した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
改修率（％）	15.00	80.00	100.00	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	令和元年度において、工事が終了し機能更新の向上が図られた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・終了	令和元年度において、工事が終了し負担割合に基づく軽費の負担も終了。				

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	5,000	23,550	2,000	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,000	23,550	2,000	0	0
正職員人工数（時間数）		61.00	180.00	15.00	0.00	0.00
正職員人件費		250	752	62	0	0
トータルコスト		5,250	24,302	2,062	0	0

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業負担金	担当課	経済課	
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成23年度～令和 7年度
	施策	農業の支援	種別	任意の事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働	
予算科目コード	01-060105-11 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>農業生産の基礎となる農業用水や排水等の水利条件を整備し、水利利用の安定と合理化を図るため。</p>	<p>土地改良区が土地改良施設維持管理適正化事業により実施する施設の改修に対し、地元拠出金を5年分割で負担する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>土地改良事業団体連合会の補助を受け、土地改良区が行う用排水施設の改修工事の費用を一部負担し、用水不足や排水障害の防止を図り、効率的で安全な農業を行うことを目的とする。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>農地の集積により生産性が向上する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>土地改良区が用排水施設の改修工事を計画的に実施していることから、課題はない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高野土地改良区 第2号, 第3号深井戸機場改修工事 事業期間：平成27年度～令和元年度</li> <li>高野土地改良区 第1号, 第4号深井戸機場改修工事 事業期間：平成29年度～令和3年度</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	<p>高野土地改良区の第2号・第3号深井戸機場については、今年度で事業は終了する。</p>

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
<p>用水不足や排水障害の防止を図る改修工事に対する経費の負担であり、事業完了までは現状維持が必要とされる。</p>	<p>高野土地改良区内での深井戸機場改修工事を実施する土地改良区に対し、経費の一部を負担した。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
改善着手率（%）	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	計画どおりに改修工事に着手していることにより、施設が良好な状態に維持されている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	負担年度終了まで、継続して負担割合に基づき経費の一部を負担する。 令和3年度から、新たに守谷土地改良区内において、下高井排水機場及び排水樋管の補修工事が採択される予定である。 なお、令和2年度から土地改良事業各種負担金に統合した。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	2,016	3,276	2,400	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,016	3,276	2,400	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	38.00	28.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	159	115	0	0
トータルコスト		2,016	3,435	2,515	0	0

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	県単かんがい排水事業負担金	担当課	経済課	
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成10年度～
	施策	農業の支援	種別	法定事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働	その他
予算科目コード	01-060105-12 単独	根拠法令・条例等	守谷市土地改良事業等補助金交付要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>水利用の安定と合理化を図るため、農業生産の基礎となる農業用水や排水等の水利条件を整備する。</p>	<p>茨城県がかんがい排水事業として補助を行う事業に対し、市が地元負担分の一部又は全部を負担する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>茨城県の補助を受け、土地改良区が行う用排水施設の改修工事の費用の一部負担し、用水不足や排水障害の防止を図り、効率的で安全な農業を行うことを目的とする。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>農地の集積により生産性が向上する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>土地改良区が用排水施設の改修工事を計画的に実施していることから、課題はない。</p>	<p>菅生沼土地改良区内（菅生沼南部板戸井地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板戸井第2用水機場ポンプ設備補修工事</li> </ul>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	

次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	<p>土地改良区に対し、地元負担金の一部を市要綱に準じ負担するもので、次年度の事業費が減額するため減少する。</p>

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度 of 取組（評価、課題への対応）
既存設備の改修工事に対する負担事業であることから、現状維持が必要とされる。	既存設備の改修工事に対し、経費の一部を負担した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
全体整備率（%）	31.00	34.00	35.00	36.00	40.00
市内整備率（%）	31.00	34.00	35.00	36.00	40.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	工事進捗により、整備率が向上した。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	用水不足や排水障害の防止を図る改修工事に対する経費の一部を負担することから現状維持とする。令和2年度からは、土地改良事業各種負担金に統合した。				

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	2,538	2,354	4,587	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,538	2,354	4,587	0	0
正職員人工数（時間数）		7.00	47.00	61.00	0.00	0.00
正職員人件費		29	196	250	0	0
トータルコスト		2,567	2,550	4,837	0	0